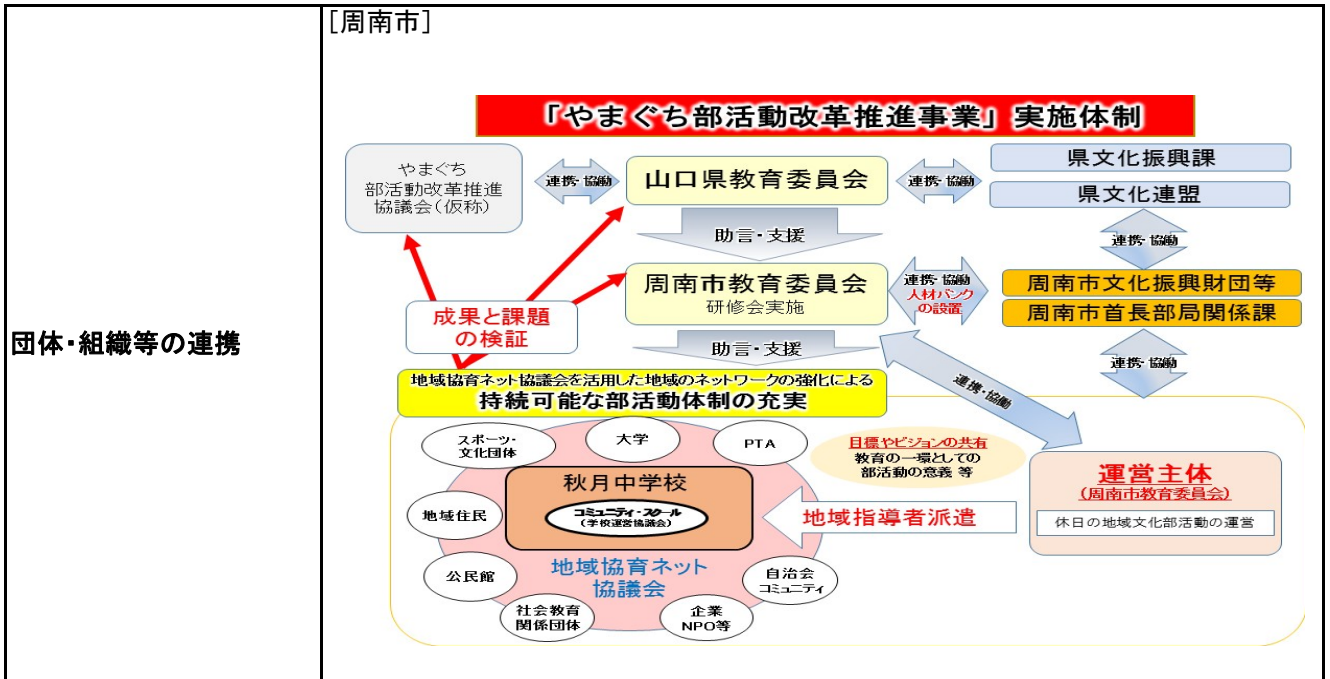


成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	山口県教育庁義務教育課（再委託先：周南市教育委員会学校教育課）		
所在地	山口県山口市滝町1番1号	運営形態	県・市区町村運営型
運営主体	山口県（再委託先：周南市）		
課題	[周南市（吹奏楽部について）] ・指導者が見つからない。 ・使用施設のセキュリティ問題。 ・楽器はどのように保管、管理するのか。 ・今まで使用している楽器は各学校吹奏楽部の保護者会費から購入している場合が多い。地域に移行した場合、その扱いはどうなるのか。		
事業目標	[山口県] ①協議会等の開催による関係機関・団体等との連携体制の構築 ②部活動改革に係る本県の取組や実践研究の成果と課題等の発信及び関係者への周知・理解促進 ③情報交換会の開催等による各市町との連携体制の構築及び各市町の部活動改革の取組の推進 ④県内3校の拠点校を指定し、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方等についての実践研究の実施による検証及び成果と課題の県内展開 [周南市] 周南市では、国や県の方針に沿って「周南市文化部活動の在り方に関する方針」を策定し、令和元年10月から運用している。適切な活動時間や休養日等を設定することにより、望ましい文化部活動の運営が行われるよう体制整備に努めているところであるが、部活動に携わる教師の負担が軽減できていない状況が少なからずどの学校においても見受けられる。 こうした中、国から、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、その第一歩として、「学校と地域が協働・融合」した部活動の具体的な実現方策とスケジュールが示されたことを踏まえ、本市においても、令和5年度以降の段階的な地域移行に向けて、様々な関係者がそれぞれの立場で協力しながら、本事業を活用し、部活動における教師の負担軽減に加え、部活動の指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、学校と地域が協働・融合した形での持続可能な文化活動のための環境整備を進め、生徒にとって望ましい地域文化活動の実現を図っていくことを目標とした。		
団体・組織等の連携	[山口県] 		



団体・組織等の連携

拠点校等 周南市立秋月中学校

活動場所 周南市立秋月中学校 音楽室等

活動概要

[山口県]

- 1) 実践研究
 - ・県内3校の拠点校を指定し、休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究を進めるとともに、その 成果と課題を広く周知・普及することで、部活動改革の県内展開
- 2) やまぐち部活動改革推進協議会の開催
 - ・関係機関及び企業・団体等によるやまぐち部活動改革推進協議会において、拠点校による実践研究の成果と課題等について検証するとともに、本県の地域実態に即した新たなスポーツ環境の構築に向けた整備方策等について検討するとともに、協議会の様子を各市町教委へ動画配信し、実践研究の研究成果を普及
- 3) 庁内関係課との協働体制の構築による取組の推進
 - ・県教育委員会及び県スポーツ部局が一体となり、県及び各市町の学校教育所管課とスポーツ・文化所管課相互の連携体制の強化を図ることで県内の部活動改革の円滑な推進を目的に、「県及び各市町担当者による部活動改革情報交換会」を定期的に開催
- 4) 広報活動(生徒・保護者・教職員・関係機関・団体への部活動改革の趣旨・方向性等の周知・普及)
 - ・各学校へリーフレット配布(教職員・保護者)
 - ・県教委HPIによる国・県の取組等の周知に向けた広報
 - ・各市町検討会議等への県担当者出席による説明
 - ・部活動改革セミナーの開催

[周南市]

令和4年4月22日～令和5年2月16日までの期間において、学校に設置している文化部活動(1部活)の休日の活動を地域文化活動へ移行するための実践研究を行った。地域文化活動としての活動日数(回数)は、約35日(回)の実施となった。また、地域文化活動に係る費用(保険料及び指導者謝金、旅費等)については、保護者負担は生じないものとした。その他、生徒、教師、地域指導者への事後アンケート調査等を実施し、地域の実情に応じた文化部活動の在り方等について検証するよう努めた。

[以下、周南市]

○本事業による成果

吹奏楽の専門性に長けた地域指導者を配置し、実践研究を行った。地域指導者については、以前から外部指導者として携わっており、そのため関わりのある生徒も多く、生徒一人ひとりのよさや課題を把握した、指導が細やかに行うことができている。さまざまな楽器を演奏する上での、専門的な技能や知識を丁寧に教えてもらうことができるため、練習にやりがいを見出している生徒が多い。また、部活動顧問は、専門性に長けた指導者の指導により負担感が減っていると感じている。また、地域指導者と順調に連携を図りながら、部活動運営を行うことができ、部活動顧問の負担軽減につながっている。

○児童・生徒への指導に関する工夫

生徒の、音に対するこだわりや意識を高めるために、楽譜に示された演奏符号の重要性や表現したい音楽について、イメージを膨らませることができるよう、生徒一人ひとりに個別指導を行った。また、集団としての探求心や向上心も高められるように、指導を行っている。

○運営上の工夫

学校で定めた部活動ガイドラインに沿って、活動を行った。部活動顧問が、こまめに地域指導者と連絡を取り合い、平日の部活動の状況や生徒たちの様子、演奏の状況などを伝えることで、休日の活動がスムーズに行われるよう配慮をされている。

○継続的な運営に関する課題

【活動場所について】

活動場所が、校舎セキュリティ解除を必要とする音楽室であることから、地域指導者のみでの活動が実施できない。兼職兼業教員が地域指導者として活動に携わる際には、セキュリティ解除が可能だが、そうでない場合は、活動ができないことが課題である。セキュリティの解除場所の変更等についても検討したが、そのためには予算的な負担が大きく、すぐに対応することは難しい。

【活動経費】

令和4年度は、基本的には保護者負担は求めず、研究調査費で対応したが、保険料やその他必要経費を保護者負担とした場合、家庭事情から、活動機会がもてなくなる生徒も発生するのではないかと懸念される。

【地域等との連携】

今後、地域の文化活動として、環境を整備していくにあたり、各種音楽連盟や周南市文化振興財団等と連携を図りながら、活動の場を考えていく必要がある。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

周南市では、令和5年度以降、学校部活動を地域が引き受けて、部活動を継続させるというのではなく、地域で新たな文化活動の中学生の受け皿を作り、将来、部活動という概念を廃して、中学生が自由に、地域の文化活動に参加できる仕組みを作ることを目指している。

そのため、周南市地域スポーツ・文化活動推進協議会を設立し、関係団体との協議を始めたばかりである。特に、吹奏楽部に関しては、楽器等の関係から、各中学校の校舎でしか活動できないとなる場合に、どのような解決策が見いだせるかは、協議会での話し合いを通して何らかの解決策を見出していきたいと考えている。

周南市が考える「地域スポーツ・文化活動」とは、「誰でも参加できる活動」であり、「地域の居場所となる活動」である。生涯文化活動の視点から、いろいろな世代の方々とともに関わりながら、多様な文化活動を体験できる環境を、本市文化スポーツ課と連携を図りながら、周南公立大学や周南市文化財団、各種連盟等が主体となって担っていくことを検討している。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	26
	募集方法	年度当初の部活動紹介
指導者	人数等	地域指導者1名と教員1名
	募集方法	以前から秋月中学校に関わっている外部指導者
参加者の移動手段		徒歩、自転車
活動費用	指導者謝金等	周南市
	その他	時給1236円×3時間/回 37円×距離/回
活動財源	会費	基本的には保護者負担なし
	その他	
スケジュール	基本活動	休日のどちらか1日(3時間)
	年間	30回程度
保険加入等		スポーツ安全保険(補助金で負担)